

令和7年第8回定例教育委員会会議録（要旨）

開会日 令和7年8月21日
場 所 市役所406会議室
時 間 午後2時00分 開会

（出席委員）

湯原教育長、滝委員、鈴木委員、村田委員、磯辺委員

（欠席委員）

なし

（委員以外の出席者）

滝教育部長、岩間学校教育課長、鈴木生涯学習課長、石森図書館長、
小山教育総務課長、遠山教育総務課総務学務係長、長谷川教育総務課主任

（次 第）

- ・ 議 事 議案第22号 北茨城市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
- 議案第23号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書について
- 議案第24号 令和7年度教育費9月補正予算について

- ・ 報告事項 (1) 9月の教育委員行事日程について

（開 会）

教育総務課長

定刻となりましたので、湯原教育長よろしくお願いたします。

教育長

ただいまから、令和7年第8回定例教育委員会を開会いたします。

教育総務課長

続きまして、教育長よりご挨拶と教育長報告をお願いいたします。

(教育長からの挨拶、教育長報告)

教育総務課長

ただいまの教育長からのご報告について、ご質問等ございますでしょうか。

磯部委員

7月29日に行われた部活動地域移行検討委員会では、大まかで結構ですので、どういった方向にとか、どういう御意見があったかということをお聞かせいただければと思うのですが。

教育長

今がよいでしょうか。4のその他のところでもよろしいですか。

磯部委員

では、後のところで。

教育総務課長

それでは、その他のところをお願いいたします。その他ご質問ございますでしょうか。

(質問等無し)

それでは、ここからの議事進行については教育長をお願いいたします。

(議案第22号 北茨城市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について)

教育長

本日の議事に入ります。それでは議案第22号について、担当課からの説明をお願いします。

教育総務課長

(議案第22号 北茨城市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について、説明)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、質問等がございますでしょうか。

(質問等無し)

無いようですので、議案第22号について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員により、議案第22号については可決といたします。

(議案第23号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書
について)

教育長

続きまして、議案第23号について、担当課からの説明をお願いします。

教育総務課長

(議案第23号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価に関する報告書
について、説明)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、ご質問等ありましたらお願いいたします。

滝委員

よろしいですか。ちょっと時間的に厳しいものがあってね、あまり深読みはできなかつたかなと思いますが、確認しておきたいことがまず1点。教育委員会は広範囲に事業を抱えてるわけですね。そういう中で、今回18事業、新規が1事業。自分が教育委員になってから6年目ですが、令和元年は24事業で、新規が1。2年が18事業で、新規が1。3年が18事業で、新規が2。4年が18事業で、新規0。そして今年が18で全て継続事業。我々としては去年と比較できて、非常に見やすいという意味ではいいのですけれども、世の中これだけ急坂にいろいろな形で変わっていく中に、なんか同じ事業が出てきているなど。それにも意味があるとは思いますが、他にもたくさんある

と思います。最終的には市民に公表する。市民というか、税金を納めてくださってる方々ですよね。それが継続事業だけとなると、新しいものや他のものは無いといった取られ方はしないかという変な懸念が一つ出てきてしまう。もっとたくさんやってるはず。それがまず一つ。

それと次ですけれども、今回一番先に目がついたのは総合評価A、Bという形がある。これは今まで5年間は無かった。確かにこれがあると、この課のこの事業は効果を上げて、良い評価が出ているのだなということがはっきりわかるので、実にいいなと思って捉えたんです。でもよく読んでみると、このA、Bの根拠は何なのか。なぜAなのか。なぜBなのか。各課が示している説明と評価者3名の方が、それに対して感想なり、意見を述べている。みんな良い文面、いい内容で書かれてるのに、なぜこれがBなのか。具体的に言いますと、学校給食ですが、北茨城市は他市町村に先駆けて先鋭的な取り組みをしてきて、すごいなと思っていました。そして市の総合計画というものがありますけれども、そこにも指標というか、目標値が載っているんですね。(2)のところは栄養教諭の食に関する指導訪問の回数82回とあるんですが、市の総合計画の方では、11年度までに80回を達成するとなっている。もう既にそこを超えているわけですよね。そういった素晴らしい取り組みをやっている。ところがB評価。なぜBなのか、といった疑問がどうしても残る。反対に、Aのところですけども、長寿命化のところ。基本的な方針の策定業務の実施をしたと。今後もこの計画に基づく工事の施工をするとともに、長寿命化を図っていく。これからの事業ですがAがついている。これを見たときに、文章説明のところのA、Bがどうなんだろうな、整合性あるのかな。知らない我々にしてみれば、根拠はどうなんだろうという疑問が残ってしまっています。そのことについてお願いしたいと思います。

次ですね、細かいことですけども。例えば先ほどの学校給食なんですけれども、その82の下に「15校」という数字がありますよね。これは、学校給食提供学校数。全部の学校に出してるのは当たり前ですよね。それと同じことが、施設の学校開放をしているのが15校。これは、わざわざここに示す必要があるのか。もう全部やっているのだから、文章一行入れれば済むことだし、示す必要は無いなという感想を持ちました。

先ほどのA、Bのことにに関して根拠をという話をしましたけれども、これには二通りありまして。まずAやBですが、これは何段階の評価のうちのA、Bなのか。何段階なのかという部分も、どこかに示せるといいなと。それからA段階というのは、100%のうち、例えば90%以上出したらAだよと。そういう基準についても載せて欲しいといった感じを受けました。

それと先ほどの基準のほかに目標値。できれば数値目標がいいと思うのですが、

これがあると中のことを知らない我々が見た時に、この事業はどういうところに向かって進んでいるのか。または、どこまでのことを目標に頑張っているのか。それが分かると先ほどのABCがもっと説得力が出てくるのかなと。例えば、担当者にしても目標値というものがあれば、もうひと頑張りすれば届くとかね。そういうふうに頑張りがいという意味でも、その数値目標が細かくこの中に示される、というものが欲しい感じですね。「先生、何周走ってればいいんですか?」「いいから走ってろ」これが一番つらいんですね。何周走ればいいのか、どこまで行けば終わるのか分からない、でも頑張れ。そうじゃなくて、「5周頑張ってみろ」「6周頑張ってみろ」と言われると「もうあと一歩頑張ろう」という気持ちになりますので。これも事業を運営している担当課、事務局のためにも、数値目標というものがあつた方がいいのかなというような感じがしました。

教育総務課長

まず事業の選択の方法についてなのですが、おっしゃるとおりいろいろな事業がございますが、今年度も各課の主要事業として挙げているものに関する評価とさせていただきます。評価についてですが、A評価、B評価となっておりますが、これは何段階のうちのA評価、B評価なのか。評価委員懇談会の中では、4段階の中でということが分かるのですが、この評価書には、出ておりませんので、「評価は4段階」といった内容を、入れるような形で修正したいと思います。

評価の根拠ですが、委員3名それぞれが各事業ごとにA B C Dの評価を行います。Aは4点、Bは3点、Cは2点となっており、3名の委員さんの合計点数が10点以上ならAという形で評価しております。意見の欄は、各委員さんのおっしゃっている内容を記載しており、総合はAなのに少し否定的だったりとかということが出てきてしまう場合がありますが、評価の基準としてはそれぞれの合計点数で評価をさせていただいております。それと、先ほどおっしゃっていた15校やっていたの部分に関してですが、おっしゃるとおりですので、削れる部分に関しては削る方向で考えていこうと思います。

目標値に関しても、評価懇談会資料の中では設定しております。この評価書、報告書自体にはその目標値というのが出てこないのですが、そこをどういった表現をするか、検討させていただければと思います。

滝委員

前向きに捉えてもらって、ありがとうございます。忘れてはいけないのは、市教委の事業は何のためなのか。こういう説明は何のために。この事業評価もまず評価委員さんに分かってもらうように、担当が説明し評価してもらう。評価者は何日もかけて対

応し、回答して出来上がったものが議会に行くのだけれども、我々はどこを向いて仕事をするのかということをやっぱり忘れちゃいけないなと思います。市民、納税者の目に触れるのはこの報告書ですので、この報告書で分かるように丁寧に親切に書いてあげないといけない。それが本来の我々の仕事ではないかな、という感想を持ちました。「市教委すごいな、子どもたちのためにそんなことをやっているんだ、すごいな」ということをわかってもらう。そういった報告書を作っていきたいなという感じがありますよね。それで主要事業の話がありましたけれども、今、納税者、保護者は教育委員会に何を求めているのか。ここに載っているものが果たしてそれに合っているのか。先ほど話題になったのですけれども、体育館が暑くて部活をやってられない。今度、冷風機が入るといいます。先々どうなんだということも考えると、保護者はそういった目で見ます。この前、津波のための避難がありましたけれども、相当長い時間避難所に釘付けになりました。そういう時に、果たして冷風機の対応で十分なのか。真夏だとしたら、それこそ熱中症で体調崩して、別な意味で問題が出てくるのではないかなと。やはり我々は、市民・納税者の方を向かなくてはいけないし、その人たちが何を望んでいるのかをしっかりと考察しないと、何をやっているんだ、空回りしているなというようなことになりかねないなということで。苦言を呈させていただきました。

教育長

ありがとうございました。その他、ございますか。

(質問等無し)

無いようですので、議案第23号について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員により、議案第23号については可決といたします。

(議案第24号 令和7年度教育費9月補正予算について)

教育長

続きまして、議案第24号について、担当課から説明をお願いします。

教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、図書館長

(議案第24号 令和7年度教育費9月補正予算について、説明)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、ご質問等がございますでしょうか。

滝委員

電子黒板は、当初予算に入っていますか。草刈りははどうですか。

教育総務課長

電子黒板は6月補正予算で、草刈りは当初予算に入っています。

滝委員

了解しました。

教育長

その他、何かございますか。

(質問等無し)

無いようですので、議案第24号について賛成の方は挙手をお願いします。

(挙手全員)

ありがとうございます。挙手全員により、議案第24号については可決といたします。

(報告事項(1) 9月の教育委員行事日程について)

教育長

それでは報告に入ります。9月教育委員会の行事日程等について、教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長

(教育委員行事日程について、説明)

教育長

担当課からの説明が終わりましたが、何か御質問等がございますでしょうか。

(質問等無し)

それでは5のその他に入りたいと思います。その他で何かございますか。

生涯学習課長

(7月の部活動地域移行検討委員会で協議された、組織の委員、市立中学校部活動の地域移行・地域展開、クラブの活動状況について、説明)

教育長

ただいまの説明につきまして、ご質問がありましたらお願いします。

滝委員

地域移行が地域展開に名称を変えたんだ。とうとうという感じだね。そのあたりの話はしていますか。

生涯学習課長

国からは、そういう会議で学校と地域で対立するのではなくて、全体、学校と地域も含めた形で展開、名称も移行から展開という形にしたら、もっとスムーズにいくということで、示されたと思っております。

滝委員

結局は、学校から活動を離し地域に渡す。総合型クラブとか少年団といった地域の組織にといったことで国は進んできた。ところが、いろいろなところから問題が出てきた。そういったことで、やはり学校にある体育館や運動場といった施設を当然使っていく。6割から7割が学校に集約、集中してるわけだよね。それを使用していくためにはといったことが一つと、やっぱり教職員も完全に渡すのではなくて、学校も協力しようよと。いろいろな協力の仕方があると思うけれども、兼職兼業とか連絡・調整とか、いろいろな形で学校も協力して欲しいということを書き始めた。確認ですが、そこまでオーケーですか。

生涯学習課長

はい。そのとおりになりますね。

滝委員

それと、令和8から令和13年度までの6年間で前期と後期に分けると言っている。

そして平日の移行も考えてくということも前に出てきました。そういったことを受けて、北茨城はという部分が出てくると思います。今度は、学校をどういうふうに巻き込むかという視点も置いておいた方がいいかな。そんな感じがしましたね。ここまで丸投げで、受けてもらうための受け皿を作ろうよという視点でいたけど、ちょっと様子が変わってきたということですよ。

村田委員

プラス7クラブで15になって、187名から何名になる見通しですか。人数をお伺いしたいです。

生涯学習課長

今のところ290名ですね。

鈴木委員

先生への説明とか、保護者への説明は何か予定されていますか。

生涯学習課長

今ですね、この移行も新人戦以降と考えていまして。今日も職員が学校へ先生向けの説明のため行っております。それと、保護者の方に関しては、その都度地域クラブの方で説明しているような状況です。

鈴木委員

なるほど。では新人戦以降にもっと保護者も子どもも、ずっと広まっていくという感じですね。

生涯学習課長

はい、これから9月以降にどんどん進んでいくのかなというところで。

鈴木委員

はい、わかりました。ありがとうございます。

教育長

その他ございますでしょうか。

滝委員

結局、市町村の生涯学習課長さんとかそういう人が、トップになって音頭を取って調整をして、会議なんかも開いていたけれども、やっぱりこれからもその形は大事にしていかななくてはいけないなと思うんだよね。学校、保護者、指導者がどういったことを考えているか全然分からない。それぞれどこかがやってくれるだろうなといった気持ちでいたけれども。そうではなくて、みんなで考えなくてはいけないんだよ。そのまとめ役は市教委ですけれども、みんなで考えるんだよっていうその雰囲気作りですよ。

生涯学習課長

初めてのことでみんな手探りなところがありますので、みんなどうしていいか分からないところがあるんですね、やっぱり。実際話を聞くと、そういうことだったんですねとみんな安心したりとか、そういうのはありますので。その辺も含めまして、連携しながら、地域の方とか指導者の方とかと話をしながら、作っていくしかないのかなというのが現状だと思います。

滝委員

モデルケースがあればそれに近づけていけばいいというのはあるけど、市町村によって条件が全然違う。条件が違うともうモデルなんてないに等しいということですよ。

生涯学習課長

そうです。

滝委員

手探りで探すしかないんだよね。

教育長

その他のことで、何かございましたら。

滝委員

学校のあり方検討委員会も開かれたのかな。

教育長

まだですね。

滝委員

メンバーは決まった。会議としてはいつ？

教育総務課長

メンバーは前回定例教育委員会の議案として承認いただいております。会議は、来週の火曜日開催予定です。

教育長

それぞれの経過は次のときにお話しします。その他のことで、大丈夫ですか？

村田委員

ヒロシマの話ですが、私も協力員という形で今回、ヒロシマの平和への旅に参加させていただきまして、団長の教育長、そして副団長の生涯学習課長、そして皆さん、生涯学習課、学校教育課、教育総務課の職員の皆さんに本当にお世話になりまして、ありがとうございました。準備の段階から皆さんのこの行事に取り組む意気込みというか、熱意をととても感じ取っていたのですが、実際に一緒に同行させていただきまして、それが本当に形になって、生徒への思いを伝える旅になったのではないかと思っています。本当に暑い中、体調は皆さんそれぞれ管理するのが精一杯というあの暑さの中で、まずはいつも子どもたちの心に寄り添って、いつも声かけやいろいろな指導をしている姿が、本当に胸に打たれましたし、そして、結団式と食事の前のご挨拶、団長がされましたけれども、この言葉には、大変小さな習慣かもしれませんが、例えば礼を尽くすですとか、相手を思いやる、決まりを守る、いろいろなお話をされていらっしゃるんですが、この小さな取り組みが、平和の世界やそして戦争回避することに繋がっていくということをととても実感しまして、やはり先頭に立って導く方の言葉の力ですとか、重み、大切さを痛感いたしました。子どもたちが行く道をどのような言葉で導くのか、気づきを与えるのかというその言葉の重さ、力強さを、教育長さんのお話から感じ取って感銘を受けております。

この取り組みをこれからも続けていけるように、この行事をずっと継続していけるように努めていただきたいと思いますし、今回の市の職員の皆様に対する信頼もとても大きく、より一層大きくなりました。今後ともどうぞ、よろしく願いいたします。教育委員の皆さんもいろいろアドバイスをいただきましたり、お見送りをいただきまして本当にありがとうございます。

教育長

その他、ございますでしょうか。

(質問等無し)

(閉 会)

教育長

以上をもちまして、令和7年第8回定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会 午後3時10分